

## 第2学年外国語学習指導案

授業者 奥水 ゆりあ

### 1 単元名

Program 6 Live Life in True Harmony ( Sunshine English Course 2 )

### 2 単元について

#### ○教材観

本単元は、音楽家のスティービー・ワンダーの思想や影響を受けた人物について述べている。Think 1は、ミラー先生が歌をロズさんでいるところを、健が通り掛けに聞く場面から始まる。そこで健は、スティービー・ワンダーの存在を知る。Think 2 では、スティービー・ワンダーがキング牧師から影響を受け、彼のために曲を作ったことについてミラー先生と健で会話をしている。Think 3 は、黒人人権運動の指導者であるネルソン・マンデラとスティービー・ワンダーの関係について書かれている本を健が読んでいる場面である。

”Happy Birthday”や”I Just Called to Say I Love You.”は2曲とも有名な曲であり、1度は耳にしたことがあると予想される。しかし、作曲したスティービー・ワンダーという人物や、彼が影響を受けた二人の人物について知っている生徒は少ないと思われるので、作曲に至った背景にある社会的問題や人物の思想について、学習を深めたい。また、本校では、本年度生徒会活動の一環として、SDGs における取組が展開されている。この教材は、SDGs の観点にもつながるという視点から、生徒により深く読ませ、自分の意見を持たせたいと考えている。単元の読解を通して、SDGs で問題視されていることやクラス単位で取り組めることについても考えさせ、やり取りを通して自分の意見を伝えることで、単元目標の達成に近づけさせたい。

#### ○生徒観

本学級の生徒は、ペアワークやグループ活動において、英語が苦手な生徒も活動に協力して取り組んでいる。また、疑問に感じたことを解決しようと課題に熱心に取り組む姿も見られる。しかし、個人の意見を求められると、自分の考えやその根拠をはっきりと述べることができる生徒は少ない。そのため、普段の授業において、個人で考えを持たせた後に考えを共有する時間を持たせることで、自分の考えに自信をもって発言できるようにしている。本単元では、単元末のゴールに向けた Small Talk を適時設定していることから、自分の意見を英語で話したり、話した内容に基づいて意見を書いたりすることへの抵抗を減らしながら、活動に取り組ませたい。

英語教育改善プラン推進事業の研究指定が最終年度になる。2学年全体に行ったアンケート結果では、「授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で、英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていると思いますか。」という項目に対して「そう思う」「どちらかというそう思う」を合わせて92.4%という結果になった。また、「授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていると思いますか。」でみると、「そう思う」「どちらかというそう思う」が合わせて91.3%だった。各単元で読んだことについて考えさせ、やり取りさせる活動は、昨年度から取り組んできているため、2学年として、理由や根拠を明確にして、聞き手や読み手が納得するような意見を書くことにつなげたいと考えている。

## ○指導観

本単元の指導にあたっては、第1時においては、単元の目標を共有し、本単元全体の概要を捉えさせる。第2時から第4時では受動態の形式、意味、使い方を、言語活動を通して習得させる。また、第5時から、今回の1つのテーマであるSDGsに関する資料としてリーディング活動を行い、人権や平等等に関する理解を深め、自分の意見を理由とともに伝える活動を展開したい。

本年度の本校の研究重点内容として、「技能統合型の言語活動の実践」及び「汎用性と持続可能性のある教科書の活用」が挙げられている。本研究授業では、教科書を活用しながら、テーマ性のある課題といかに関連付けて日々の授業を行うかを重要視している。そこで、ScenesのSpeak & Writeという活動において、単元ゴールと関連したテーマを与え、Small Talkを行う。その中で、教師が新出言語材料である受動態などを使用し、生徒自身に活用場面や意味に気付かせ、教科書の活動に取り組ませたい。また、言語面での正確さを身に付けさせるため、読んだり、やり取りしたりした内容を書く活動を行う。この活動に繰り返し取り組ませることで、最終のパフォーマンス課題に対して、自分なりの考えを持ち、表現する活動につなげたい。

## 3 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第2学年）

| 読むこと                                    | 書くこと  |
|---|---|
| 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた文章の概要を捉えることができる。 | 社会的な話題に関して読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて、書くことができる。 |

## 4 単元の目標

- 興味のあるSDGsについて、自分の考えや取り組みを伝えるために、スティービー・ワンダーに関する英文の概要を捉えることができる。
- クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のあるSDGsについて、自分の考えや取り組みをまとまりのある文章で書くことができる。

## 5 言語材料

### 新出文法

~is used / are sung / Was ~ built by...? / is interested in~ / is covered with~

### 新出語彙

seen / sold / sung / used / made / known / covered / all over the world / Stevie Wonder / famous / musician / tackle / difficult / problem/ through / political / issue / message / his / important / us / needed / life / holiday / written / by / set up / Dr. Martin Luther King, Jr./ fought / civil rights / greatly / influenced / celebrated / mutual / respect / award / dedicated / Nelson Mandela / black rights / lock / jail / president / million / later / became / country / harmony / time / food / money / love

## 6 単元の評価規準

|      | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|------|---|---|--|
| 読むこと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身に関する事項を理解している。</li> <li>・受け身などの意味や働きの理解を基に、スティービー・ワンダーについて書かれた英文の内容を読み取る技能を身につけている。</li> </ul> | 興味のある SDGs について、自分の考えや取り組みを伝えるために、スティービー・ワンダーに関する英文の概要を捉えている。   | 興味のある SDGs について、自分の考えや取り組みを伝えるために、スティービー・ワンダーに関する英文の概要を捉えようとしている。  |
| 書くこと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身を用いた文の構造を理解している。</li> <li>・興味のある SDGs について、受け身などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身につけている。</li> </ul>           | クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えや取り組みをまとまりのある文章で書いている。 | クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えや取り組みをまとまりのある文章で書こうとしている。 |

便宜上、以下のように示す。

ア:「読むこと」知識・技能      イ:「読むこと」思考・判断・表現      ウ:「読むこと」主体的に学習に取り組む態度  
 エ:「書くこと」知識・技能      オ:「書くこと」思考・判断・表現      カ:「書くこと」主体的に学習に取り組む態度

## 7 単元の指導と評価の計画(全 10 時間)

| 時間          | 目標(◆) 主な言語活動(○)   | 評価 |   |   |  |
|-------------|---|----|---|---|--|
|             |   | 知  | 思 | 態 | ◎評価規準<br>〈評価方法〉                                  |
| 1           | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆単元の目標を理解する。</li> <li>◆Program 6 の概要を捉える。</li> <li>○帯活動: Small Talk: What song do you like?</li> <li>○単元の見通しと、単元ゴールを理解する。</li> <li>○単元の主要人物に関わる表現を、学習者用デジタル教科書を使いながら確認する。</li> <li>○Picture Ordering を通して、単元の概要を確認する。</li> </ul>   |    |   |   | ★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。<br>〈リフレクションシート〉 |
| 2<br>本<br>時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆スティービー・ワンダーや SDGs についてのやり取りを通して、受け身の表現等に気付き、活用することができる。</li> <li>◆クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えを書くことができる。</li> <li>○帯活動: Small Talk: What song do you listen to?</li> <li>○Review: Who is Stevie Wonder?</li> <li>○Interaction: about SDGs</li> <li>○Write: What SDGs are you interested in? ①</li> </ul> |    |   |   | ★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。<br>〈リフレクションシート〉 |
| 3           | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆動作主が明らかな受け身の意味と役割を理解し、実際にコミュ</li> </ul>   |    |   |   | ★本時では、目標に向け                                      |

|   |  |   |   |   |   |
|---|--|---|---|---|---|
|   | <p>ニケーションの中で活用する。</p> <p>○帯活動:Small Talk: What book do you read?</p> <p>○新出語句の復習</p> <p>○Listen</p> <p>○Write: What SDGs are you interested in? ②</p> <p>※必要となる語彙等は各自で調べる。</p>   |   |   |   | <p>て指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>〈リフレクションシート〉</p>            |
| 4 | <p>◆by 以外の前置詞を使った受け身の意味と役割を理解し、実際にコミュニケーションの中で活用する。</p> <p>○帯活動:Small Talk: What book do you read?</p> <p>○新出語句の復習</p> <p>○Listen</p> <p>○Write: What SDGs are you interested in? ③</p> <p>※必要となる語彙等は各自で調べる。</p>   |   |   |   | <p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>〈リフレクションシート〉</p> |
| 5 | <p>◆スティービー・ワンダーという人物や曲について書かれた本文を読んで概要を読み取り、本文に触れながら意見を書く。</p> <p>○帯活動:聞きトレ</p> <p>○新出語句の復習</p> <p>○スティービー・ワンダーという人物の特徴や取り組んだことについて概要を読み取る。</p> <p>○なぜスティービー・ワンダーが社会的な問題を扱った曲を書いたのか、自分の考えを書く。</p> <p>Q: Why did Stevie write songs about political issues?</p> |   |   |   | <p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>〈リフレクションシート〉</p> |
| 6 | <p>◆スティービー・ワンダーが書いた曲やキング牧師について書かれた本文から概要を読み取り、本文に触れながら意見を書く。</p> <p>○帯活動:聞きトレ</p> <p>○新出語句の復習</p> <p>○”Happy Birthday”が誕生した理由について本文から考える。</p> <p>○キング牧師が人種問題に立ち向かった理由について、自分の考えを書く。</p> <p>Q: Why did Dr. Martin King Luther Jr. fight for civil rights?</p>   |   |   |   | <p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>〈リフレクションシート〉</p> |
| 7 | <p>◆スティービー・ワンダーが尊敬する人物について書かれた本文を読んで概要を読み取り、本文に触れながら意見を書く。</p> <p>○帯活動:聞きトレ</p> <p>○新出語句の復習</p> <p>○ネルソン・マンデラについて人物の特徴や成し遂げたことについて本文から要点を読み取る。</p> <p>○マンデラの生き方から、彼が大切にすることは何か自分の意見を書く。</p> <p>Q: What did Mandela think was the most important?</p>           | 読 | 読 | 読 |   |

|    |  |   |   |   |                               |
|----|--|---|---|---|-------------------------------|
| 8  | <p>◆自分の好きなものや知っている場所について、相手に理解してもらえように尋ねたり伝えたりする。</p> <p>○帯活動:読みトレ・Small Talk:</p> <p>○新出語句の復習</p> <p>○自分の好きなものや知っている場所について、質問を考えて尋ねたり答えたりする。</p> <p>○Write: What SDGs are you interested in? ④</p> <p>○3人グループで意見文を共有し、良いところやアイデアを付け加える。</p> |   |   | <p>★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>〈リフレクションシート〉</p> |                               |
| 9  | <p>◆3人の歴史的人物について説明するために、彼らの考えについて触れながら、写真を示して本文の要点を話し、自分の意見を述べる。</p> <p>○帯活動:読みトレ・Small Talk: Who do you respect?</p> <p>○新出語句の復習</p> <p>○リテリング(自分の意見も付け加える。)</p> <p>○リテリングしたことを書く。</p>  | 書 |   | <p>◎評価規準</p> <p>「書くこと」エ</p>                                 |                               |
| 10 | <p>◆クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えや取り組みをまとまりのある文章で書くことができる。(単元終末のパフォーマンス課題)</p> <p>○パフォーマンス課題に取り組む。</p> <p>○3人グループで意見文を共有し、アドバイスを書き合う。</p>  | 書 | 書 | 書   | <p>◎評価規準</p> <p>「書くこと」エオカ</p> |

(※) パフォーマンステスト(単元終末のパフォーマンス課題)について

◎パフォーマンステストの内容

今年度は生徒会活動やふるさと探訪を通して、SDGs について考えてきました。持続可能な社会を作るために、これからも継続して学校全体で SDGs に取り組む必要があると思います。各クラスで重点的に取り組む課題を決めるために、自分が関心を持っている目標について意見を書き、クラスメイトに提案してください。

Q: What SDGs are you interested in? What can you do in your class?

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック(評価基準)

|   | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|---|--|---|
| a | ・受け身などを使い、誤りのない正しい英文で書くことができる。                                  | クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えや取り組みを、クラスメイトを意識しながら、まとまりのある文章で書いている。 | クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えや取り組みを、クラスメイトを意識しながら、まとまりのある文章で書こうとしている。 |
| b | ・誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を書くことができる。<br>・受け身などを正しく使うことができる。 | クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えや取り組みをまとまりのある文章で書いている。                | クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えや取り組みをまとまりのある文章で書こうとしている。                |
| c | 「b」を満たしていない。  | 「b」を満たしていない。   | 「b」を満たしていない。  |

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール

I'm interested in Goal 2, Zero Hunger. We get much food from other countries. However, a lot of food are thrown away every day. I'm very sad about that. So, I will stop buying too much food.

Everyone, why don't we eat all our school lunch? ※下線は思判表(a)

8 本時の学習

(1) 日時 令和4年11月7日(月)

(2) 場所 視聴覚室

(3) 目標 ・スティービー・ワンダーや SDGs についてのやり取りを通して、受け身の表現等に気付き、活用することができる。  
 ・クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えを書くことができる。

(4) 展開

| 時間 | 生徒の活動   | 指導者の活動    | 指導上の留意点<br>◎評価規準<br>〈評価方法〉   |
|----|---|-----------|--|
| 1分 | 【Greeting】<br>・あいさつをする。   | ・あいさつをする。 |  |
| 6分 | <p>【Small Talk】</p> <p>What song do you listen to?</p> <p>T: Let's start today's lesson. There are many guests today! Are you nervous?<br/>                     Ss: Yes. No. Nervous. Excited...</p> <p>T: I'm very nervous. So, this morning in my car, I listened to a song to relax myself.<br/>                     What song did I listen to? Take a guess!<br/>                     Ss: ○○○○</p> <p>T: That's right! ( That's not right! / Close! )<br/>                     I listened to カイト this morning. Do you know カイト?<br/>                     Ss: Yes, 嵐が歌っている歌。No.全然知らない。</p> <p>T: カイト is sung by Arashi. I often listen to this song. I think it's exciting,<br/>                     S1, what song do you listen to?<br/>                     S1: □□.</p> <p>T: Oh, you listen to □□. Why?<br/>                     S1: It's cool!</p> <p>T: I see. But I don't know that song. Who sings □□? (Whose song is it?)<br/>                     S1: ◎◎.</p> <p>T: Thank you. □□ is sung by ◎◎, right?<br/>                     S2, what song do you listen to?<br/>                     ... (同様の流れ)</p> <p>T: OK. It's your turn. Today's Small Talk topic is "What song do you listen to?"<br/>                     (What song do you listen to? 板書)<br/>                     Let's make pairs. I'll give you 1 minute.<br/>                     Don't stop talking. Ready, Start!</p> <p>Ss: スモールトーク1回目</p> <p>中間指導</p> <p>Ss: スモールトーク2回目(ペアを変えて)</p> |           | <p>中間指導の観点(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語面:受け身 等</li> <li>・内容面:Wh-Questions 等</li> <li>・コミュ面:聞き返し・確かめ<br/>曲名・歌手名 等</li> </ul> |

【Review】

T: Good job, everyone!

We started learning about this person. Do you remember this man?

(写真を見せる)

S3: Stevie Wonder.

T: Right. He is Stevie Wonder. What songs did he sing?

If you don't know, you can use your textbook and read Program 6.

S3: "Happy Birthday."

T: Nice! What else?

S4: "I Just Called to Say I Love You."

T: That's right. These songs are sung by Stevie Wonder.

Do you remember anything about Stevie Wonder? Talk with your partner for 30 seconds.

Ss: (Talk with partner.)

T: OK. Please tell me about him.

Ss: He is a singer. / He is blind. / He plays the piano, drums, and harmonica.

T: You remember a lot of information. Then, what's the message in his songs? You can check textbook again.

Ss: He tackles difficult problems. / 人権について。/ Black people.

T: Good! His messages are about civil rights and black rights. He tried to tackle difficult problems. Now, we are trying to tackle difficult problems too. Look at monitor. What's this?

Ss: SDGs.

T: That's right. In Oshihara J.H.S., students have started learning about SDGs this year. What do you think is the most difficult problem?

Ss: 貧困/ 世界平和/ よくわからない。

T: OK. All of them are very difficult. Today, we will focus on some goals and think about them.

・本時のゴールを確認する。

Today's Goal:

○クラスで取り組む重点課題を決めるために、興味のある SDGs について、自分の考えを書くことができる。

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 15分  | <p>【Activity1】 T-S Interaction</p> <p>・スライドに表示されたロゴを見て、連想されるキーワードを発表する。</p> | <p>・スライドに SDGsのロゴを映し、連想されるキーワードから、事実を説明する文を板書する。</p> |  |
| <p>生徒とやり取りをしながら、受け身の文に着目させる。</p> <p>やり取り(例)</p> <p>T: Look at this logo. Tell me some key words from it. (Goal 2)</p> <p>Ss: Food / ramen/ ゴミ</p> <p>T: Good. This means “No hunger all over the world.”</p> <p>But, how about in the world?</p> <p>S5: 毎日食事ができない。</p> <p>T: That’s right. Some people in the world can’t eat every day.</p> <p>Much food <u>is sold</u> in Japan, such as at supermarkets and convenience stores. ※板書</p> <p>T: Let’s move on to the next one. What does this mean?</p> <p>Tell me some key words from it. (Goal 6)</p> <p>Ss: water / clean / トイレ</p> <p>T: Nice. This means “Safe water and toilets in the world.”</p> <p>A lot of (clear) water is used in our life. When do you use water?</p> <p>Ss: Wash Hands. Cooking. Toilets.</p> <p>T: I see. A lot of water is used when you wash your hands, cook. and use toilets.</p> <p>But, clear water and toilets are not used all over the world. ※板書</p> <p>T: Let’s move on to the next goal. Tell me some key words from it. (Goal 12)</p> <p>Ss: 3Rs / reduce / reuse / recycle</p> <p>T: The 3Rs are very famous. What do you reuse/ reduce/ recycle at school?</p> <p>S6: 牛乳びん</p> <p>T: How do you say “牛乳びん” in English?</p> <p>S6: Milk bottle.</p> <p>T: Milk bottles are reused in Oshihara J.H.S. ※板書</p> <p>T: Next is the last goal. Look at this logo. Tell me some key words. (Goal 15)</p> <p>Ss: Tree / Birds</p> <p>T: What is made from trees? / When do we use trees?</p> <p>Ss: Paper / chopsticks / straws / bags</p> <p>T : Well done. Trees are used for paper, chopsticks and so on. ※板書</p> <p>※板書した英文を発話する。</p> |   |  |  |

|     |   |   |                                |
|-----|---|---|--------------------------------|
| 15分 | <b>【Activity2】Writing</b><br>・モデルとなる教員の発話を聞き、自分が関心を持ったSDGsについて考える。  | ・生徒が書く内容をイメージできるように、具体例を話す。   | ・主発問を板書する。                     |
|     | <p>T: We checked Goal 2, 6, 12, and 15.<br/> <u>What SDGs are you interested in? Why?</u></p> <p>I'm interested in Goal 12 because it's easy action for me. Plastic items are recycled these day.</p> <p>What do you think? Please write about your opinion.</p>          |   |                                |
|     | ・自分の考えの理由を 1 文以上加えて、関心のある SDGs について書く。  | ・机間巡視しながら、Why?の問いに困っている生徒に対しては、何ができるかを考えさせる。  | ※英文を書くためには、何を使ってもよい。話し合ってもよい   |
|     | <p>I'll give you 10 minutes.<br/>         You can use anything, such as digital textbooks, tablets, paper textbooks...<br/>         Of course, you can use the sentences on the blackboard.<br/>         Also, you can talk with your friends to write your opinions.</p> |   |                                |
|     |   |   | ※生徒の書いたものを次回の授業で補足説明しながら取り上げる。 |
| 8分  | <b>【Conclusion】</b><br>・板書された文から、気づいたことをペアで確認しあう。<br><br>・教科書 Pro.6 で受け身の表現が使われている部分に、アンダーラインを引く。   | ・受け身の形と意味に、板書した文から気づかせる。<br>・生徒の意見を板書に書き加え、受け身の be 動詞+過去分詞の形と「~される」という意味について確認する。<br>・教科書 Pro.6 で受け身の表現が使われている部分に、アンダーラインを引かせる。 |                                |
| 5分  | <b>【Reflection】</b><br>・振り返りシートを記入する。   |   |                                |
|     | <b>【Greeting】</b><br>・あいさつをする   | ・あいさつをする  |                                |

(5) 評価規準

※本時は、「記録に残す評価」は行わないが、以下のように評価の観点は記載する。

「書くこと」における知識・技能

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 「十分満足できる」状況(a)                 | 受け身や既習文法において、テーマについて誤りのない正しい英文で書くことができる。                            |
| 「おおむね満足できる」状況(b)               | 受け身や既習文法において、テーマについて誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で、テーマについて書くことができる。 |
| 「努力を有する」状況(c)と評価した生徒に対する指導の手だて | 改善点について振り返りシートに記入したり、個別支援を行ったりして、「おおむね満足できる」(b)を達成できるようにする。         |